

## 製品安全データシート

### 製造者情報

会 社：吉水商事株式会社  
住 所：〒910-0006  
福井県福井市中央3丁目2-15  
担当部門：断熱建材部  
担当者：吉田 利正  
電話番号：(0776) 22-0665  
FAX番号：(0776) 21-6221

作成日：2004年3月19日

改訂日：2005年5月10日

---

製品名 ファイバーエース SOG

---

物質の特定 単一製品、混合物の区分：混合物

一般名称 : セルローズファイバー

成分 : 新聞紙 78.0%

: 硼砂 17.0%

CASNo. 12179-04-03

: 硼酸 5.0%

CASNo. 10043-35-3

---

### 危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

危険性 : 難燃性があり、一般的な使用法では危険性はない。

有害性 : 大量に経口すると、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、をおこす恐れがある。

環境影響 : 現在のところ有用な情報は無し。

---

---

## 応急処置

裸眼接触：清浄な水で15分以上洗眼し、症状に応じて専門の医師の診療をうける。

皮膚接触：石鹼・洗剤を使い多量の水で洗浄する。それでも皮膚刺激が収まらない時は、専門の医師の診療をうける。

吸入：鼻・喉への炎症がある時は、新鮮な空気のある場所に移動し清浄な空気を吸わせる。

経口摂取：水で良く口の中を洗浄する。  
量が多ければ吐き出させ、直ぐに医師の診療をうける。

---

## 火災時の処置

本品は、難燃3級及び準不燃材料に指定されている為、火災を誘発する危険性は少ない。

消化方法：一般火災と同様風上から行い、火元への燃焼源を断ち、保護具を着用して行う。

消化剤：泡・粉末・炭酸ガス・霧状の水などを用いる。

---

## 漏出時の処置

できるだけ回収する。掃除機や集塵機があれば使用する。

---

## 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：誤って飲み込まないようにする。

商品を取り扱った後手、顔などは十分洗浄する。

袋を破損させないようにする。

保管：湿気の多い所や、雨水の当たらない場所に保管する。

パレットなどを使用し、床に直接置かない。

---

## 暴露防止措置

呼吸用保護具：着用すること。

保護眼鏡：着用すること。

---

---

物理・化学的特性

外 観 : 灰色綿状  
臭 気 : 無臭  
熱伝導率 : 0.04 W/m・K  
比 熱 : 1.26 J/kg・K  
透湿抵抗 : 13.4 mhmHg

---

危険性情報 (F☆☆☆☆同等品)

引火性 : 無し  
発火性 : 無し  
可燃性 : 無し  
安定性 : 通常の取り扱い条件において安定。  
反応性 : 通常の取り扱い条件において反応無し。

---

有害性情報

眼刺激性 : ホウ素系薬剤について、ウサギでは軽度の炎症が認められた。  
50年間の長期の暴露調査では、人への障害の報告はされて  
いない。  
皮膚刺激性 : ホウ素系の薬剤について、軽度急性経皮毒性  
(ウサギ LD50 > 2,000 mg/kg 体重)  
無傷の皮膚からは、吸収されない。  
皮膚炎症 : 炎症無し。  
経口摂取 : 軽度急性経口毒性  
(ラット LD50 3,200~4,100 mg/kg 体重)

---

環境影響情報

分解性 : データー無し。  
蓄積性 : データー無し。  
魚毒性 : ホウ素は自然界の海水中に 5 mg B/l 存在する。

---

---

#### 廃棄上の注意

少量の場合は、ゴミ埋め立て地への投棄が可能。大量の場合は地方及び国の規約に準じる。

---

#### 輸送上の注意

一般輸送条件で特に問題はないが、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

#### 適用法規

硼砂：TSCA登録番号1660-43-4（無水物）

被暴露限度PEL値 10mg/m<sup>3</sup>、TLV値 1mg/m<sup>3</sup>

PRTR法第2条第2項に規定している第一種指定化学物質

硼酸：TSCA登録番号10043-35-3

被暴露限度PEL値 15mg/m<sup>3</sup> TLV値 10mg/m<sup>3</sup>

PRTR法第一種指定化学物質に指定されているホウ素（B）を含有しております。硼酸中のホウ素濃度は、17.48%です。

---

この情報は新しい知見及び試験等により改正される事があります。

#### {特別注意事項}

本文書の記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途、用法に応じた安全対策を講じた上で実施願います。

すべての化学品には未知の有害性がありうる為、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

以 上